

おわりに

当館の「戦時文庫」は時代の特徴を反映しています。

ひとつは、戦時文庫の多くが日本の戦争期（昭和16～19年）に出版されているため、当時の緊迫した社会状況を映し出していること。またもうひとつは、GHQの指示による処分から逃れるために、金沢文庫の須弥壇の中に隠匿されていたものであったことです。

このように、戦時文庫は敗戦の日を境にして価値観が大きく変動した時代をくぐり抜け、現在まで形を残しています。

図書館の使命の一つには、多様な価値観や意見を異にする情報を収集し、広く社会や後世に伝えていくというものがあります。

戦時文庫コレクションが図書館の社会的使命を果たし、当時の複雑な時代背景を知る鍵になれば幸いです。